



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム  
 コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 内藤 裕紀  
 (氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,750	7.1	233	—	222	—	115	—
28年3月期第1四半期	1,634	△17.5	△205	—	△210	—	△153	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 111百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △160百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.42	8.42
28年3月期第1四半期	△11.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	3,759	1,625	40.1	110.23
28年3月期	3,300	1,653	42.1	101.76

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 1,506百万円 28年3月期 1,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	△0.9	300	—	300	—	150	—	10.97

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ReDucate  
(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	13,901,000 株	28年3月期	13,901,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	233,200 株	28年3月期	233,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	13,667,800 株	28年3月期1Q	13,652,404 株

みずほ信託銀行株式会社(以下「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式233,200株(議決権の数2,332株)につきましては、上期期末自己株式数に含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネットサービス業界を取り巻く環境は急速な変化を続けております。内閣府が平成28年3月に実施した消費動向調査では、平成28年3月末のスマートフォンの世帯普及率は従来型の携帯電話の普及率を初めて上回り67.4%に達し、スマートフォンの普及は拡大の一途を辿っております。また、平成27年通信動向調査によると、平成27年末時点で、スマートフォンを使用してインターネットを利用する人の割合は54.3%となり、スマートフォンはPCと並ぶ主要なインターネットデバイスと位置付けられています。このように、スマートフォンの急速な普及とインターネットデバイスとしての重要性が増していることを受け、インターネットサービス業界では、スマートフォン向けの新規サービスが次々と創出され、市場拡大と競争の激化が続いております。

こうした環境の下、当社グループはスマートフォン向けサービスの提供を主な事業と位置付け、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に注力しております。主力事業のソーシャルゲーム事業では、既存ゲームの運用のほか、IPゲームを戦略的焦点と定め、新規IPゲームの開発に経営資源を集中投下し、事業拡大に取り組んでおります。

広告メディア事業では、主力サービス、動画リワード広告「DreeVee」で、新たなマネタイズ手法の導入に取り組む等、事業拡大と収益性の向上の両面から、拡大傾向にある広告メディア事業の成長加速に努めました。

また前述の両事業に加え、次世代の主力事業創出を目的とした新規サービスの開発・運用にも取り組みました。業績面では、他社配信アニメ著作権ゲームが前事業年度に引き続き安定的に推移しました。5月にはリリース2周年を記念したイベントを実施し盛況を博したほか、海外版では5月に配信地域が拡大されるとともに好調なスタートを切り、想定を上回る売上寄与をもたらしました。オリジナルゲーム「フルボッコヒーローズ」では前年度に引き続き他社コンテンツとコラボレーションを実施し、ユーザー層を拡大して、売り上げを伸ばしました。また、既存ブラウザゲームについても、リリースからの経年に抗い、売上水準を維持しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,750,677千円（前年同期比7.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益233,437千円（前年同期は営業損失205,436千円）、経常利益222,168千円（前年同期は経常損失210,207千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益115,051千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失153,380千円）となりました。

#### ①コンテンツサービス

他社コンテンツゲームでは、既存の他社配信アニメ著作権ゲームが引き続きユーザーからの支持を獲得し、5月に実施した配信開始2周年記念イベントが好評を博す等、配信開始からの経年に抗う好調な推移となりました。5月に新たな地域での配信が開始された海外版についても、コンテンツの有する高い集客力により、急速なユーザー数の拡大に成功し、想定を超えた業績寄与がありました。オリジナルゲームでは、「フルボッコヒーローズ」で、前年度に引き続き、他社コンテンツをゲーム内のキャラクターやモチーフとして用いるコラボレーションを実施し、他社コンテンツの支持層を取り込み売上を伸ばしました。中核ユーザーに焦点をあてた運用・サポートに注力した「ちょこっとファーム」および「陰陽師」も、リリースからの経年に抗する売上水準を維持しました。なお、他社配信アニメ著作権ゲーム2本の売上高については、配信会社からの一定の比率に応じた売上分配を得るかたちとなっていることから、売上への影響は相対的に小さいものの、支払手数料が無いため、利益に与える影響が大きくなります。

以上の結果、セグメント売上高は1,479,951千円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は299,224千円（前年同期はセグメント損失38,018千円）となりました。

#### ②広告メディアサービス

広告メディアサービスでは、主力サービスである動画リワード広告「DreeVee」のサービス拡充に注力しました。旧サービス「poncan」と比較し、拡大された「DreeVee」の顧客リーチを活かし、新たな業種の顧客開拓に注力したほか、新たなマネタイズ手法の導入に取り組む等、収益の拡大に向け試行しました。また、ミュージックプレイヤーアプリ「DropMusic」の運用のほか、次世代の主力事業創出を目的に、新規サービスの開発・運用にも取り組みました。

しかしながら、いずれの事業も事業開発段階にあることから、セグメント売上高は300,535千円（前年同期比16.3%増）、セグメント損失は58,208千円（前年同期はセグメント損失145,745千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,880,179千円となり、前連結会計年度末に比べ553,679千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が257,547千円、売掛金が166,987千円増加したことによるものであります。固定資産は879,175千円となり、前連結会計年度末に比べ94,372千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が118,473千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,759,354千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,872,763千円となり、前連結会計年度末に比べ536,659千円増加いたしました。これは主に短期借入金が500,000千円増加したことによるものであります。固定負債は261,191千円となり、前連結会計年度末に比べ49,748千円減少いたしました。これは主に長期借入金が51,632千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,133,954千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,625,400千円となり、前連結会計年度末に比べ27,603千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が115,051千円増加したものの、非支配株主持分が150,380千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.1%（前連結会計年度末は42.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績見通しは、売上高3,300百万円、営業利益300百万円、経常利益300百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益150百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社ReDucateを持分割合の変動に伴い連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社にしております。

(2) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,146	1,468,693
売掛金	958,041	1,125,028
仕掛品	16,580	69,095
繰延税金資産	20,073	45,603
その他	120,657	171,758
流動資産合計	2,326,499	2,880,179
固定資産		
有形固定資産		
建物	175,298	168,335
減価償却累計額	△91,382	△90,855
建物(純額)	83,916	77,479
工具、器具及び備品	53,420	54,374
減価償却累計額	△46,494	△46,377
工具、器具及び備品(純額)	6,926	7,997
有形固定資産合計	90,842	85,477
無形固定資産		
ソフトウェア	209,922	184,525
ソフトウェア仮勘定	142,369	200,656
その他	330	283
無形固定資産合計	352,622	385,464
投資その他の資産		
投資有価証券	99,421	103,427
繰延税金資産	263,379	144,905
その他	167,282	159,900
投資その他の資産合計	530,082	408,233
固定資産合計	973,547	879,175
資産合計	3,300,047	3,759,354

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	223,054	262,608
短期借入金	100,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	359,528	277,828
1年内償還予定の社債	150,000	75,000
未払金	383,951	410,212
未払法人税等	39,834	46,218
賞与引当金	12,500	45,500
その他	67,234	155,395
流動負債合計	1,336,103	1,872,763
固定負債		
長期借入金	190,278	138,646
資産除去債務	45,552	40,099
その他	75,109	82,445
固定負債合計	310,939	261,191
負債合計	1,647,043	2,133,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,638	1,196,638
資本剰余金	1,437,618	1,437,618
利益剰余金	△1,095,241	△981,055
自己株式	△149,968	△149,968
株主資本合計	1,389,048	1,503,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,931	3,671
為替換算調整勘定	△102	△286
その他の包括利益累計額合計	1,828	3,384
新株予約権	106,628	113,663
非支配株主持分	155,499	5,119
純資産合計	1,653,004	1,625,400
負債純資産合計	3,300,047	3,759,354

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,634,678	1,750,677
売上原価	1,247,222	1,123,873
売上総利益	387,456	626,804
販売費及び一般管理費	592,892	393,366
営業利益又は営業損失(△)	△205,436	233,437
営業外収益		
受取利息	3	2
受取分配金	310	1,329
請負受託料	—	1,650
為替差益	—	908
その他	80	317
営業外収益合計	394	4,207
営業外費用		
支払利息	3,917	3,038
社債利息	891	259
持分法による投資損失	—	10,988
為替差損	170	—
その他	185	1,190
営業外費用合計	5,165	15,477
経常利益又は経常損失(△)	△210,207	222,168
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△210,207	222,168
法人税、住民税及び事業税	5,426	20,068
法人税等調整額	△55,388	92,177
法人税等合計	△49,962	112,245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160,244	109,922
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,864	△5,128
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△153,380	115,051

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160,244	109,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,739
為替換算調整勘定	—	△183
その他の包括利益合計	—	1,556
四半期包括利益	△160,244	111,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153,380	116,607
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,864	△5,128

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,469,315	165,362	1,634,678	—	1,634,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	93,120	93,120	△93,120	—
計	1,469,315	258,483	1,727,798	△93,120	1,634,678
セグメント損失(△)	△38,018	△145,745	△183,763	△21,672	△205,436

(注) 1. セグメント損失の調整額△21,672千円はセグメント間の内部取引によるものであります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,479,951	270,726	1,750,677	—	1,750,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	29,809	29,809	△29,809	—
計	1,479,951	300,535	1,780,487	△29,809	1,750,677
セグメント利益又はセグメント損失(△)	299,224	△58,208	241,015	△7,578	233,437

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,578千円はセグメント間の内部取引によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。